

ブラシール[®] NF-11TF NF-12HM

財団法人 日本消防設備安全センター 性能評定工法

特定共同住宅等の住戸等の壁を貫通するケーブル及びPF・CD管の1時間耐火工法

住戸等 … 特定共同住宅等の住戸(下宿の宿泊室及び寄宿舎の寝室を含む)

共用室、管理人室、倉庫、機械室その他これらに類する室

ブラシール NF-11TF

【硬化型熱膨張性耐熱シール材】



- ・軽比重
- ・作業性優秀

400gブロック×20個入/箱

ライトグレー色・比重：0.9

屋外でのご使用は避けて下さい。

高湿度環境となる箇所や水がかかるおそれのある場合はブラシールNF-12HMをご使用下さい。

ブラシール NF-12HM

【不乾性熱膨張性耐熱シール材】



- ・再通線作業が容易
- ・高湿度環境箇所の施工に

1kgブロック×10個入/箱

グレー色・比重：1.6

屋外、高温環境下でのご使用は避けて下さい。

ブラシール NF-18(S)

【ガラスクロス積層アルミシート
+耐熱シールシート材】



- ・KK24-010号、KK24-011号用
ケーブル被覆材

10枚入/箱

グレー色・比重：1.8

屋外、高温環境下でのご使用は避けて下さい。

評定番号及び使用材料

主 用 途		電気室等の幹線 貫通箇所		住戸内への引き込み線 貫通箇所	
評 定 番 号		KK24-010号	KK24-011号	KK24-012号	KK24-013号
工 法 名 称		WS-5工法	WS-6工法	WS-7工法	WS-8工法
使用材料	耐熱シール材(耐火ハテ)	ブラシール NF-11TF	ブラシール NF-12HM	ブラシール NF-11TF	ブラシール NF-12HM
	耐熱シールシート材	ブラシール NF-18(S)*			

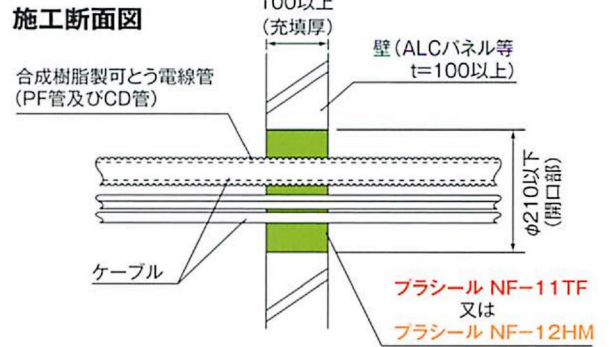
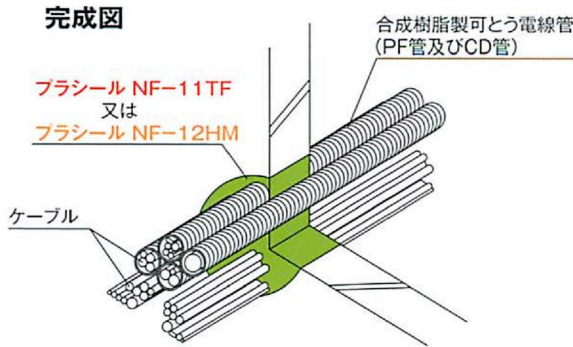
* 100mm²以下のCV、CVTケーブルはブラシールNF-18(S)による被覆が不要(CV、CVT各1条のみ)

KK24-012号：ブラシール NF-11TF
KK24-013号：ブラシール NF-12HM

主 用 途：住戸内への引き込み線 貫通箇所
 適用構造：ALC壁・コンクリート壁

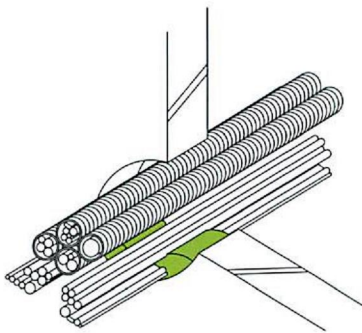
開口径	充填厚	占積率	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管
φ210mm以下	100mm以上	28.2%以下	60mm ² 以下 外径φ33mm以下	PF-36、CD-42以下 合計4本以下

■特徴 ●通信ケーブルの適用範囲が大幅増加



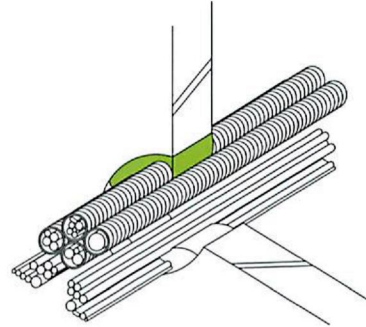
※ブラシールNF-11TFを高湿度環境となるおそれのある箇所で使用される場合は、ナイコートSB-61等でコーティングを施して下さい。
 吸湿・吸水性があるため、高湿度が長時間続くと成分の滴下・しみ出しを起こす場合があります。

1 熱膨張性耐熱シール材の充填①



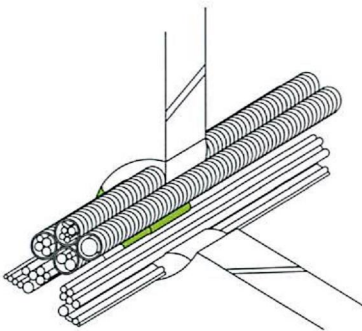
開口部の下側、電気配線及び合成樹脂製可とう電線管の間や開口部外周等の狭隙部から熱膨張性耐熱シール材を充填する。

2 熱膨張性耐熱シール材の充填②



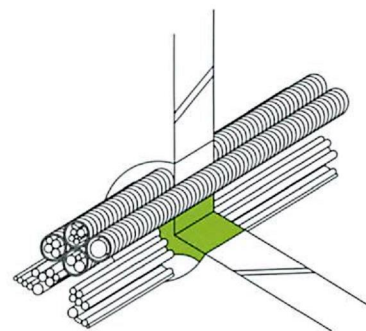
開口部上部側に熱膨張性耐熱シール材を充填する。

3 熱膨張性耐熱シール材の充填③



開口部中央部の狭隙部に熱膨張性耐熱シール材を充填する。

4 熱膨張性耐熱シール材の充填④・仕上げ



残る隙間部分に熱膨張性耐熱シール材を充填する。
 100mm厚以上充填されているか、隙間の有無などが無いかを確認し、不備がある場合は熱膨張性耐熱シール材を補充して仕上げる。

KK24-010号：ブラシール NF-11TF
KK24-011号：ブラシール NF-12HM

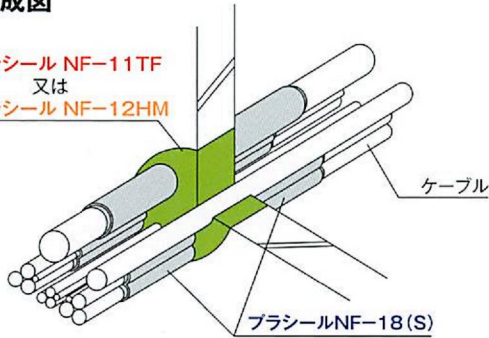
主用途：電気室等の幹線貫通箇所
 適用構造：ALC壁・コンクリート壁

開口径	充填厚	占積率	ケーブル	合成樹脂製可とう電線管
φ210mm以下	100mm以上	25.3%以下	250mm ² 以下 外径φ60mm以下	

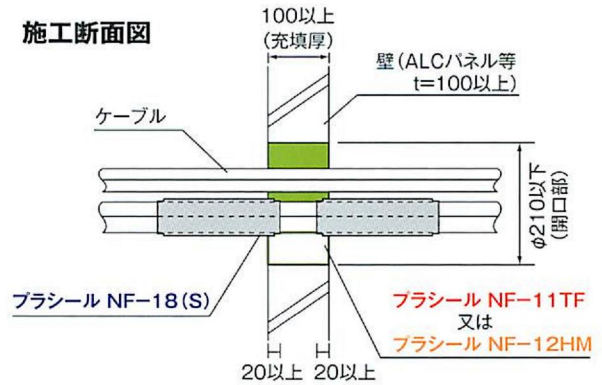
■特徴 ●100mm²以下のCV、CVTケーブルはブラシールNF-18(S)による被覆が不要(各1条のみ)

完成図

ブラシール NF-11TF
 又は
 ブラシール NF-12HM

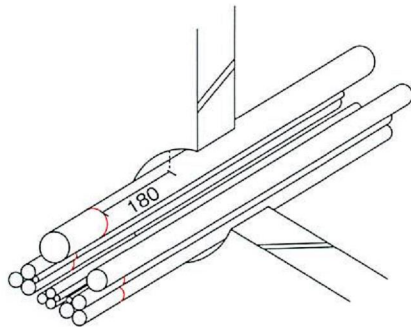


施工断面図



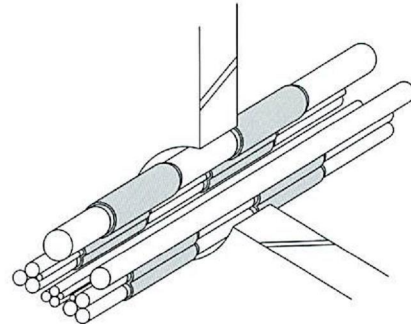
※ブラシールNF-11TFを高湿度環境となるおそれのある箇所で使用される場合は、ナイコートSB-61等でコーティングを施して下さい。
 吸湿・吸水性があるため、高湿度が長時間続くと成分の滴下・しみ出しを起こす場合があります。

1 ブラシールNF-18(S) 貼り付け位置の墨出し



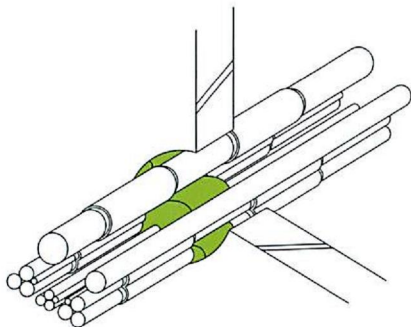
ブラシールNF-18(S)の被覆が必要な電気配線に壁面から180mmの位置でラインを引く。

2 ブラシールNF-18(S)の貼り付け



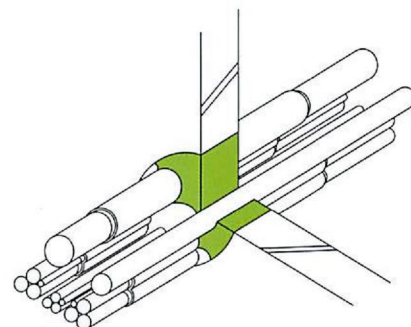
墨出し線に合わせてブラシールNF-18(S)を電気配線の形状になじむように貼り付ける。(特にCVTは谷間に合うように)
 この際、ブラシールNF-18(S)が壁面より20mm以上内側の配線部分まで被覆されていることを確認する。
 不備がなければ、裏面側も同様に仕上げる。

3 熱膨張性耐熱シール材の充填①



開口部の下側、電気配線の間や開口部外周などの狭隙部から熱膨張性耐熱シール材を充填する。

4 熱膨張性耐熱シール材の充填②・仕上げ



残る隙間部分に熱膨張性耐熱シール材を充填する。
 100mm厚以上充填されているか、隙間の有無などが無いかを確認し、不備がある場合は熱膨張性耐熱シール材を補充して仕上げる。

施工条件

適 要 箇 所	電気室等の幹線 貫通箇所(共住区画)	住戸内への引き込み線 貫通箇所(共住区画)								
工 法 分 類	(財)日本消防設備安全センター 評価工法									
関 連 法 令	平成17年3月25日消防庁告示第二号、告示第四号									
評 定 法 令	KK24-010号 ・ KK24-011号	KK24-012号 ・ KK24-013号								
使 用 材 料	ブラシールNF-11TF ・ ブラシールNF-12HM	ブラシールNF-11TF ・ ブラシールNF-12HM								
適 用 構 造 体	鉄筋・鉄骨鉄筋 コンクリート壁、ALC壁									
壁 厚	100mm以上									
開 口 径	φ210mm以上									
充 填 厚	100mm以上									
占 積 率	25.3%以下	28.2%以下								
施 工 条 件	ブラシールNF-18(S)による被覆 (1開口に被覆のあり及びなしの混在可)	ケーブルの配線方法 (1開口に直配線と樹脂管配線の混在可)								
ケーブル (最大サイズ 及び 最大本数)	線 種	最大サイズ	あ	り	な	し	線 種	最大サイズ	直配線	樹脂管配線
	C V T	250mm ²	2本	—	—	—	C V T	60mm ²	1本	1本
	I V	38mm ²	2本	—	—	—	I V	38mm ²	1本	1本
	C V T	100mm ²	—	—	1本	—	C V T	38mm ²	—	1本
	I V	38mm ²	—	—	1本	—	I V	38mm ²	—	1本
	C V	250mm ²	1本	—	—	—	C V	60mm ² ×3C	1本	—
	C V	100mm ²	—	—	1本	—	S-7C-FB	φ10.2mm	1本	1本
							V V F	2.0mm ² ×3C	1本	1本
							U T P	0.5mm-4P	1本	1本
							光ファイバ	φ14mm	1本	2本
							FCPEV	1.2mm-5P	1本	1本
							C C P	0.65mm-10P	1本	1本
							E B T	0.5mm-10P	1本	1本
							A E V	1.2mm-20P	1本	1本
						H P	1.2mm-20P	1本	1本	
						EM-FP	1.2mm×2C	1本	1本	

※ 呼び径36以下のPF管及び呼び径42以下のCD管
合計4本まで

製品や認定書に関する詳細、その他何でもお問い合わせ下さい!

 **日東化成工業株式会社**

〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町1-24-24
TEL:06-6693-3561 FAX:06-6693-3838

<http://www.nitto-kasei.co.jp/>